

新中1 正負の数『加法』

■ 加法(足し算)

◎足されている2数が、“同符号”か“異符号”かを判断してから計算する！

- 同符号の足し算とは… $(+3) + (+4), (-10) + (-5)$
- 異符号の足し算とは… $(+6) + (-2), (-12) + (+7)$

① 同符号の場合 → 絶対値の和に、共通の符号をつける

(例) $(-4) + (-6) = -(4+6) = -10$

② 異符号の場合 → 絶対値の差に、絶対値が大きい方の符号をつける

(例) $(-8) + (+3) = -(8-3) = -5$

途中式は必ず書きましょう！

※上の2つに当てはまらない場合

⚠ $(-5) + 0 = -5$ “0をたす”のは、何もしていないのと同じですから、答えは-5です。

⚠ $(-7) + (+7) = 0$ 異符号の足し算ですが、-7と+7の絶対値は同じです。
この場合は、どちらから引いてもOKで、結局 $7 - 7 = 0$